

<東北地区納税貯蓄組合連合会長賞>

## 「自分たちが決める税の価値」

西郷村立西郷第二中学校

3年 真船 梨花

「税金はなぜ必要なのか。」

2017年から消費税が10パーセントに引き上げられるというニュースを見て、私は疑問に思った。「税金は国を豊かにするためのもの」という、税についてなんとなくの理解しかなかった私は、「日本はもう十分豊かじゃないか。税金なんて必要ない。」と思っていた。しかし、その考えを変えた出来事があった。それは、村の海外派遣事業でタイへ行ったことだ。

その出来事は、みんなで仲良く食事をしていた時に起こった。突然入ってきたタイの子供たちを見て、私はハッとした。商売のために歌を歌いにきた私より小さな子供たち。「彼らは学校にかよっていない。自分たちの夢のために歌を歌っているんだ。」後から話を聞いてさらに大きな衝撃を受けた。「学校にかよっていない」という言葉が頭から離れなかった。

「学校にかよえない子供たち」のことは知っていた。戦争、貧困、さまざまな理由で学校へかよえない子供たち。「私はこのままでいいのかな。」と感じた。

私たちは、国の税金によって学校にかようことができている。それだけではない。私たちが安全、健康にくらすための施設や、災害復旧のための費用、そして開発途上国の経済援助など、たくさんのところに税金は使われている。しかし私たちは、税金を大切に使用しているだろうか。授業を真剣に聞かない、教科書を乱暴に使う、学校を大事にしない、このような行為は税金を大切にできていない行為だ。これからの日本を、世界を担う私たち。世界から「学校へか

よえない子どもたち」をなくすためにも税金はとても必要なものだと思う。

税金が必要なものか。それを決めるのは私たち自身だ。将来、日本や世界のために私たちに使われた税金以上のことができたか。それによって税金は必要なものだったか、無駄なものだったかが分かると私は思う。必要なものだったと言ってもらえるような日本や世界にできるよう、できることからがんばっていきたい。